

科目名	人間と美術		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2021年度前期	単位数	2
担当教員	渡邊 晃一		
内容および計画	美術の「感動」は日常生活における様々な「ものの見方」とも関連している。本講義では現代における美術が人間に果たす役割を紹介する。 「美術」「藝術」「Art」とは何か。今日の「美術」について、様々なトピックから紹介していく。 地域（福島）の衣食住文化と現代アートとの関係、人間の発達段階（幼年教育や生涯学習、アール・ブリュット）、美術館や美術学校などの制度、身体の表現や認識を変貌させたメディア表現（写真、映画、アニメーション、マンガなど）との関わりから提示する。		
1	「美術」「藝術」とは何か		
2	衣・食・住とアート		
3	アートの歴史・近代と現代		
4	幼児の発達段階と「表現」		
5	映像メディア（視覚・聴覚・言語）		
6	写真と映画の誕生		
7	漫画とアニメーション		
8	身体の動きと行為（アクション）		
9	抽象画の見方		
10	芸術を通しての教育		
11	芸術療法とアール・ブリュット		
12	都市・場とアートとの関わり		
13	生きている美術館		
14	現代美術の展望		
15	人間の「文化」と藝術		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
人間と「美術」との関係性を多角的に学びます。			
参考書	教科書は使用しません。 適時、配布資料を使用します。「絵画の教科書」日本文教出版、2010年を参考書としています。		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	1、出席状況（欠席、遅刻はしないこと）	40	
	2、 毎回の授業への参加態度と授業内の成果からの総合的評価	20	
	3、レポート（4回）	40	
授業内容をより深く理解するため、予習、復習を行なうこと。			
学習到達目標	1. 授業内容に知的関心をもって、意欲的に取り組むことができる。		

	<p>2. 芸術諸活動に興味関心を持つことができる。</p> <p>3. 論理的に自身の考えをまとめ、計画的に創意工夫することができる。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	<p>アート&amp;デザイン、幼児教育、衣食住の「文化」に関わる人には是非、修得してほしいトピックを取り入れています。</p>